

Q一般質問A

一般質問議員と主な項目

12月5日登壇

- 菅野 富夫 議員
 - ・認定子ども園と公的責任について
- 安藤 喜昭 議員
 - ・ふれあい懇談会について
 - ・今後の幼児教育・保育について
 - ・「道の駅」を各地区にとの構想について
- 半澤 隆 議員
 - ・林道館山線・向田橋建設事業の行政評価について
 - ・市民の行政ニーズに対応する事業内容の見直しについて
- 堀江 泰幹 議員
 - ・緊急経済対策本部設置について
 - ・就労支援対策について
 - ・緊急経済対策について
- 菅野 與志昭 議員
 - ・子供をどう育て守っていくのかについて
- 高橋 一由 議員
 - ・地域の特色ある施策の維持継承について
 - ・行財政改革と職員の適正配置について
 - ・新型インフルエンザの対策について
 - ・伊達地区へも市のタクシーをについて

12月8日登壇

- 中村 正明 議員
 - ・都市計画道路・中央線整備事業（右城町・大町工区）について
 - ・国道349号梁川大橋について
- 佐々木英章 議員
 - ・安心して生涯暮らせる介護体制の充実について
 - ・伊達市立梁川病院について
- 小野 誠滋 議員
 - ・妊産婦等の緊急時の受け入れ態勢について
 - ・小・中学生の食農教育に対する取り組みについて
 - ・現道舗装の取り組みについて
- 原田 建夫 議員
 - ・学校の校庭の芝生化について
 - ・学校給食の地産地消について
 - ・ドクターヘリ臨時ヘリポートについて
 - ・耕作放棄地について
- 佐藤 実 議員
 - ・道徳教育の現状と今後の取り組みについて
 - ・インターネット・携帯電話の利用について
- 大橋 良一 議員
 - ・市民主体によるまちづくりについて
 - ・有害鳥獣防衛対策について

12月9日登壇

- 佐々木 彰 議員
 - ・伊達市地域防災計画策定後の取り組みについて
 - ・子育て支援について

Q

認定子ども園の問題点と
公的責任の考えを問う



菅野 富夫 議員

認定子ども園の設置基本計画が策定され、実施計画策定の検討がされています。公立である幼稚園や保育所の保育を民営化することは、市場原理に基づく保育制度になつていく危険性があります。民間の設置者と保護者の直接契約となり、定員オーバーの場合、「公正な選考」で利用できる場合の公的責任はどうなる

のでしょうか。また、現在の保育料より上がることはありませんか。また、付加的なサービスは自由にでき、それに対する保護者負担を求めることができるようになっていませんか。所見を伺います。

A

認定子ども園に移行した場合ですが、入所申し込みは直接認定子ども園になります。公正な入所選考のため、申込書は、市に随時回付されます。市では、保育に欠ける児童の選考



認定子ども園への移行が検討されている大田幼稚園

を優先に選定して、申し込みのあった認定子ども園に通知することになります。したがって、現行どおり、保育に欠ける児童については、必

Q

「ふれあい懇談会」の成果と
「まちの駅」構想は



安藤 喜昭 議員

市民の皆様の声を伺い、市長からの生のメッセージを聞

いていた。機会として「ふれあい懇談会」が小学校単位で開催されましたが、第1次総合計画の主要施策「協働の自立したまちづくり」を進める上での成果と総括的所見を伺います。

諾しなければならぬことになつております。なお、施設の定員オーバーなどによる場合は待機児童となりますが、その対策は、今後、認定子ども園を設置した場合に発足を考えています。保護者、設置者、市の三者による協議機関にお

いて諸問題を調整していきたく考えています。また、保育料についても、現在の保育料を前提に勘案することになりますので、急激な保育料の値上げやサービスに依りての受益者負担に繋がるとは考えておりません。



栗野地区で行われたふれあい懇談会

A 懇談会への参加率は中山間地が高く、地域に住む強い思いと、抱えている問題、課題が多いということとを改めて伺いました。懇談の内容は、道路を中心とした社会資本の整備というものがかなりの数を占めました。また、私のほうから、中山間地における独居高齢者等の今後の生活支援とか、限界集落の問題について、小学校の統

また、生産者と消費者の交流の場としての有効活用を目指した施設、「JA伊達みらいファーマーズマーケット」がオープンを目指して事業展開しているが、市長マニフェスト「まちの駅」構想の具体的なイメージについて伺います。

廃合問題も含めて、中心部に集まって生活するなどの、コンパクトシティ的な考え方について問題提起をさせていただきました。今後も、さらに多くの市民に参加いただき、地域の課題・課題解決に向けて、市民と行政が一体となるような開催としていきたいと考えています。



林道館山・向田橋の建設事業の行政評価について



半澤 隆 議員

この事業は、1億8640万円という莫大な予算にもかかわらず、3月の生活産業常任委員会でも、当局から何ら一切の説明もなく、また議会においても十分審議されなかったことは、反省しなければなりません。行政評価システムについては今年度事業から取り組むことになっていますが、次の3点について伺いしま

地域外からの来訪者に対して、まちの入り口、すなわち駅としてのサービスを提供するもので、空き店舗や遊休施設を活用することで中心市街地を始め旧町地域の交流の結節点となつて、地域の魅力を生かしたコミュニティ拠点としての役割も果たせるのではないかと考えています。経済団体はもとより、地域の皆様のご協力とご理解のもとに、実現に向けて努力していきます。

す。

①この事業の費用対効果をどのようにとらえているのか。
②平成20年度大型バス等各種車両の月別入園台数は。
③平成18年度から今年度までの利用者数の推移は。



①大型バス等の乗り入れや一般車両の相互交差が可能となり、さらに今年度、新たに県北地方緑化推進委員会合同植樹祭や森林公園こども祭りの開催など、大きなイベントの受け入れが容易となり、有効利用が図られています。保育園、幼稚園、小中学校の児童、生徒の学習の場としても提供し、利用促

進策を図り、本事業の効果を高めたいと考えています。

②平成20年度大型バスの月別入園台数は、7月3台、8月9台、9月3台、10月3台、11月1台の19台となっておりますが、事前に利用予約の申請があったもので、実際はこれ以上の入園台数があつたと思われます。

③利用者数の推移は、平成18年度4484人、平成19年度3503人、平成20年度5055人で、平成18年度と比較すると、570名ほど増加してお



緊急経済対策について



堀江 泰幹 議員

アメリカ発の金融危機が世界経済を大混乱させ、日本経済、地域経済にも深刻な影響を及ぼしています。伊達市としても市長を本部長とした伊達市緊急経済対策本部を設置すべきと思います。また、来春卒業する高校生

の内定取り消しの実態と取り消された場合の市としての就職相談・就労対策はどのように取り組まれるのか伺います。



伊達市が経済活動にかかわる部分の機能というのには極めて限定的であり、国の経済的な対応に期待する一方、現実的な対応として、市民福祉の確保、生活支援、農業、中小企業、地域産業支援など、個々の分野ごとにできる対策を講じていくべきと



月見館森林公園

り、林道整備の効果の表われと思つています。